

令和3年度第3回全国健康保険協会山口支部評議会議事概要

開催日時：令和4年1月14日（金）10：00～12：00

開催場所：山口県健康づくりセンター 1階 第3研修室

出席者：河村評議員、小林評議員、中野評議員、永見評議員、藤本評議員
（五十音順）

議 題

1. 令和4年度都道府県単位保険料率について
2. 令和4年度山口支部事業計画及び保険者機能強化予算（案）
3. その他

1. 令和4年度都道府県単位保険料率について
資料に基づき事務局から説明。

《事業主代表》

準備金が積みあがっている現状をみても事業主からすると少しでも保険料率を下げて頂きたいが、前回の意見と同様で10%維持で致し方ない。先ほどの説明で受診控えがあったと聞いたが、それによる弊害が気になる。本来であれば受診したい方達が受診せずに重症化に至ることがあると思われる。山口支部の保険料率が少し下がるが、そこが少し気になる。

《被保険者代表》

山口支部の保険料率が下がるのは好ましい。受診控えの反動がどうなるか、予測が難しいが急に反動がこなければいいと思う。平均保険料率についても10%維持で問題ありません。

《被保険者代表》

保険料率を長期的に考えると、一旦下げた時に再度引き上げるのが1番ネックになると思うので10%維持が一番理想的だと思う。山口支部の保険料率を含めて異論はない。

《学識経験代表》

山口支部の保険料率が10.15%になり前年度よりも0.07%下がった事はよか

った。今後も医療費適正化をすすめ、健康に対する関心を高めていくようにすることが大切ではないか。

《学識経験代表》

10%維持に関しては前回の評議会の意見と同じでいいのではないか。結果として山口支部の保険料率が下がった事はいいことだ。ただ準備金については健康増進に有益な事業への投資を検討してほしい。

《学識経験代表》

令和4年度保険料率については10.15%で問題ない。来年度も山口支部の保険料率が下げられるように、医療費適正化、インセンティブ制度の周知や健康意識の改善に具体的にどう取り組むかが必要になる。

《事業主代表》

保険料率について異議はない。コロナが収まった時に、準備金の状況、経済情勢を勘案して引き下げの議論も行ってもらいたい。

《学識経験代表》

今回山口支部はインセンティブを取れた。今後、インセンティブ制度の見直しもあるが、インセンティブが取れるかどうかの見通しを聞かせて頂きたい。

《事務局》

インセンティブを取れるかどうかは、加入者の行動変容を促すことにより大きく差が開いてくる。インセンティブを取れるように一般健診や特定保健指導の受診を促し、様々な施策を通じて取れるようにしたい。今年度インセンティブを取れた一つの理由は、各項目全般的に実施率はそんなに高くないが伸び率が非常に良かったので取れた。加入者の行動変容を促し来年度以降も減算支部の中に入りたいと思っています。

《事業主代表》

山口支部としてどの項目が弱点で、強化していく必要があると考えるか。

《事務局》

山口支部の業績値を見て頂くと、医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率が実績値、偏差値共に低く、底上げが必要だと認識している。また全般的にはインセンティブ制度を被保険者にどう理解していただくか、周知・広報の徹底強化が重要と考える。

《学識経験代表》

医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率の項目が、1位富山支部との差が約2倍弱の差があるが、この原因は何が考えられるか。

《事務局》

山口県内では、健診体制・健診後のフォロー体制が十分でない医療機関があるのも要因の一つと考えられる。保健指導の面で山口県では大きな病院で保健指導を行う機関が3ヶ所と少ない。また、健診機関、医療機関からの受診勧奨アプローチに対して、健診を受診された要指導者・要検査者が受診されない事が多い。対象者には具体的にどこが悪いかは伝わっていても、なぜ指導や検査が必要なのか伝わっていない。今後、周知・説明が必要になってくる。

2. 令和4年度山口支部事業計画及び保険者機能強化予算（案）

資料に基づき事務局から説明。

《事業主代表》

マイナンバーカードを取得すれば限度額認定書を発行しなくてもいいのか。

《事務局》

加入者の方が健康保険とマイナンバーカードの連動申し込みをされたら、読み込みの機械を設置されている医療機関において限度額の金額確認ができます。

《学識経験代表》

協会けんぽ主催の集団健診の実施とあるが、具体的に会場の場所の目途はたっているか。

《事務局》

7月から9月にかけて受診率の低い地域において実施を考えており、具体的には下関、山口、防府、岩国等を考えています。場所については健診機関と協議の上行う予定ですが、できれば商業施設等を考えています。

《学識経験代表》

せっかくの新規事業なので効果がある場所でやって頂きたい。

以上